

金沢市立小・中学校及び市立工業高等学校の臨時休業等について

金沢市立小・中・高等学校は、令和2年3月5日（木）から3月19日（木）まで、概ね2週間の臨時休業とします。この間、原則として、児童生徒は外出をできるだけ控え、自宅等にて過ごそう努めてください。

なお、3月19日（木）の時点で、諸状況を踏まえ、改めて、その後の対応等を決定します。

1 対応について

- (1) 3月2日（月）は、通常通りの授業を行います。また、3日（火）及び4日（水）は、休業中の諸準備等のため午前中のみ授業を行います。小中学校は給食終了後に下校となります。
- (2) 上記休業期間中、小学校1年生から3年生の児童については、希望に応じて、保護者等の送迎及び昼食持参の上で、土曜日・日曜日を除き、午前8時15分から午後2時30分まで、各小学校校舎内で児童を受け入れ、見守りを行います。
- (3) 中央小学校芳齋分校及び小将町中学校特学分校の児童生徒は、上記休業期間中であっても、土曜日・日曜日を除き、保護者等の希望に応じ、昼食を持参の上で、全学年の児童・生徒を受け入れ、見守りを行います。
- (4) 小学生、中学生、高校生への連絡及び指導内容等については、野田中学校臨時休業と同様に十分、児童・生徒、保護者、学校等の連携を密にしていきます。

2 行事等について

- (1) 卒業式は、先に各学校あて通知したとおり、規模等を縮小した上で予定どおり実施します。
- (2) 放課後児童クラブについては、現状の体制で実施します。

2020年3月1日（日）市長臨時記者会見 質疑応答内容

問： なぜ5日（から）なのか。

答（市長）： 2日は通常通り出てもらいます。

準備は教職員の負担を少しでも減らしていきたいと思っております。午前中は授業をしますけども、3日、4日の午後、2日間必要だと、教育委員会の方でも確認していただいた上で、5日からにさせていただきます。

問： 準備とは、どういう準備が必要なのか。

答（教育長）： 学校における準備といいますのは、3月5日以降の学力を補償するための、例えば具体的にいうと、学習プリントの準備等もありますし、また、保護者が3月5日から19の間は平日になりますが、学校に子どもを来させたいという希望があるか、ということの希望とりも必要になりますので、希望を踏まえた上で、学校の方で見守り体制をつくるか、そういう準備もありますので、4日までは、午前中まで授業を受けて給食を食べて帰っていただくということにさせていただきました。

答（市長）： あわせて、お子さんの保護者はパートの方も多いと聞いています。毎日パートに行くわけでもなくて、週3日4日ということもあるとお聞きしておりますので、この3日間で、できる限り企業さんと話し合いをしていただければと思います。

問： 2月28日の会見では、「国や県からのエビデンスが示されれば休校する、今の段階ではそれを説明できない」と言っていたが、なぜ休校に決めたのか。

答（市長）： いろんな声はあります。その中で政治家の強い思い、ということも申し上げました。県とはこれまで、コロナウイルスの件で歩調を合わせた形で取り組んできました。石川県では、2日から休校をお決めになりました。そのことも大きいと私は思っています。通知も拝見いたしました。エビデンスというものはありませんでしたが、国、総理の強い思いというものも伝わってまいりました。また、多くの自治体では、始まる時期はいろいろありますけれども取り組まれるということでもありますので、保護者等の安心感の担保という側面からも判断させていただきました。

問： 最初、休校する気持ちはないと言っていましたが、改めて、エビデンスはなかったが休校にしたということを、もう少し思いを聞かせてください。

答（市長）： 総理の記者会見、文部科学大臣の記者会見、国会での議論、審議も拝見しました。国の通知も拝見しました。県の動向も確認しました。多くの自治体も期間はまちまちでありますけど、様々な休校という手立てをとられることになってきました。やはりここは、保護者等の安心感の担保も大切になってくると思いましたので、私はそこで考え方を改めさせていただきました、5日以降の休校と決めさせていただきました。

問： 28日朝の会見での市長の判断は2日は休校にしない、我々マスコミも2日以降も休校にしないのではないかとこのところ、首相の意向を拒否という報道も一部ありましたけれども、我々マスコミとのコミュニケーションであったり、ニュアンスの差異の、認識のずれということに関して、市長のお考えは。

答（市長）： 私の発信力が足りなかったとっております。私の伝える力に課題があったとっております。もしかしたら、十分な信頼関係を構築できていなかったのかもしれない。そんな意味では、誤解を与えてしまったとっております。私としては、言葉としては、国、県の通知と申し上げさせていただきますけれども、今おっしゃっていただきましたニュアンスを感じた報道の方がたくさん現実にはいらっしゃったということ、今改めてお聞きをしましたので、言葉としても正確に伝えていくように取り組んでいきたいと思っております。

問： 19日時点で諸状況を踏まえて、今後のことを判断するとおっしゃったが、その時の判断の基準を教えてください。

答（市長）： 国の方では、市も準拠していますけれども、美術館、博物館は15日まで休館とお聞きしています。15日時点でいろんなことが、国の方も含めていろいろ出てくるのではないかと思いますし、我々も注視をしていきたいと思っております。ここはなかなか金沢市だけで判断するのは難しいかもしれませんが、これまで県といろいろな連携をとっていますので、石川県当局とも確認をしながら、全体のきちんとした把握をしていかなければならない。今の時点で、こんな数字だからどうできるだとか、そこは申し上げることはできません。

問： 19日以降も、国の方向性、自治体のありかたで、お休みになる可能性も現実には排除しないと（いうことか）。

答（市長）： 19日の段階で今一度判断させていただければと思います。

問： 1年生から3年生の児童について、希望に応じて、保護者の送迎付きでお子さんの面倒を見ることになることだが、例えば、希望者がかなりたくさん出た場合、そもそもこの休校措置は意味をなさない可能性も出てくると思うが、その希望される方の条件はあるのか。

答（市長）： まず希望をお聞きしたいと思っております。衛生管理には気をつけながら、取り組んでいかなければならないと思っております。そもそも学校の中で、普段は1年生から6年生までいます。（休校中は）原則4年生、5年生、6年生はいません。スペース的にも余裕があるのではないかと考えています。ただ、具体的なことは、これから各学校の中でいろいろご検討いただくことになるかと思っております。まずは、特に火、水曜日に希望等を集計していきたいと思っております。

問： 1年生から3年生までのクラスだけを使うのではなく、他のクラスを使うことも現場レベルで検討されるということですか。

答（市長）： はい。

問： エビデンスという点で、小学校1年生から3年生の低学年に限定した理由、保護者で高学年の方もパートの方がいらっしゃるって預かってほしいという方もいるかと思いますが、小学校1年生から3年生にした理由は、

答（市長）： 低学年の子どもというのは、やはり、幼稚園・保育所を終えて1年目、2年目という子が多くいます。放課後児童クラブも概ね小学校3年生まで受け入れをしているところですので、やはりここは低学年ということで、小学校3年生までとさせていただきます。

問： 中学校の対応ですけど、野田中学校は2週間休校ということですけども、今回の臨時休校を受けて、野田中学校も19日まで延長になるのか。

答（教育長）： 3月5日で野田中学校の臨時休業期間は切れますけれども、あくまで全市一斉ということになりますので、このとおり野田中も含めて、全市一斉で進めさせていただきます。

問： 野田中学校も19日まで休校ということか。

答（教育長）： はい。ただし、卒業式は開催させていただきます。

問： 一部に首相の要請を拒否というような報道があって、市長もブログでそうじゃないというようなことを載せているのを拝見したのですが、その中でも、首相の要請について、壮大な社会実験であると会見でおっしゃっていましたがけれども、そのニュアンスがピンときていなくて、壮大な社会実験と捉えられた思いを改めてお聞かせいただきたい。

答（市長）： 今回は、新型コロナウイルスの件でありましたけれども、今後、いろいろな災害等々において、小中学校の休校などあり得ると思っています。ただその場合は、単に学校を閉めますということだけではなくて、現実に共働きの保護者の方もいらっしゃいます。働いている保護者の仕事をどうするのか、保護者が仮に仕事を休んで子どもとずっと一緒にいるとなると、その休業の補償、財政的な給与の補償はどうか。企業にとっては大切な人材が何日間か、健康でもあるにも関わらず、働く意欲があるにも関わらず、仕組みの都合、家庭の事情でお休みになることは、企業にとっても、大変な痛手だと思っています。

また、その子どもたちにとっても、小学校3年生まで受け入れると言いましたけれども、小学校高学年、中学生はどうするのかということもあります。今回は時間がありませんからご家庭でと、お願いさせていただいているところでもありますけれども、今後、そんなことにつきましても、さあどうするんだということをきちんと議論をしていかなければいけないと思っています。そんな意味では、ただ単に学校単体の取組みということではなくて、見守り隊、交通推進隊の方たちのお力をどんな風にお借りすることができるのか、既に福祉局の方から児童クラブの方にいろいろな確認をさせていただいているところでもあります。

れど、児童クラブとしてもその場合、どんな時間帯から開けばいいのかとか、そんなことをしていかなければなりません。学校だけの課題だけではなくて、働く方、企業にとって、また、地域のコミュニティにとっても、大きな大きな課題が出てきますので、私はそれを今回のことにおきまして、壮大な社会実験という表現で申し上げました。

問： 児童学童クラブの開館時間、夏休み等は朝一番から開いていたりという状況がありますが、今回の休校措置に伴って、その時間を延長することは（あるのか）。

答（福祉局長）： 児童クラブにつきましては、低学年を学校の方で見守りしていただけるということでありますので、基本的には通常の学校がある期間の体制でいくということであります。

問： 放課後の開館ということですか。

答（福祉局長）： 放課後の子どもを受け入れる、基本的には午後2時、3時ということになります。

問： 今回は学校のお話なんですけど、企業であったりビジネス的な部分でいろんな影響が出ているとのことでしたが、市長の肌感覚として、28日に会見があって、やはり、今回休校しますという中で、この5日間ほど見てきた中で、このコロナウイルスが金沢でまん延する可能性を踏まえて、どのようにお考えでしょうか。今の現状を見て、感覚として、子どもたちの不安、親御さんたちの不安、ビジネス面の不安、いろいろ広がっていると思いますが、市長として、これからどのような収束、形となっていくことを望みますか。

答（市長）： 私は科学者ではありませんので、なかなかそこまでは申し上げることはできませんけど、市長としてのということですので。総理は、夕方改めて記者会見をお開きになりました。私も拝見をいたしました。今回の小中学校・高校のことにつきましては、断腸の思いという表現でおっしゃいました。国だけでは対応できない、みなさんの力が必要だというお言葉もありました。私は、総理の記者会見をしたということ自体、大変重たく受け止めていますし、改めて、地方自治体の長の一人として、日本国民の一人として、しっかり取り組んでいくことによって、私の立場でできることはしていかなければいけない、そんな思いを強くしました。

問： 小学校児童受け入れについて、受け入れと見守りは教職員がするという事で間違いないと思うのですが、受け入れというのとどういうことをするのか、先ほどプリントを用意しているということだったり、自習学習だったり、少し教えるというところもあるのか。

答（教育長）： あくまでも臨時の休業期間でありますので、ここで授業をすることはありえません。児童が図書室へ行って本を読んだりするとか、自宅から持ってきた自習プリントなどをやるとか、学校から配布していますのでそれに取り組むとか、そんな形で進めさせていただきます。

問： お願いしたいのですけれども、市長がブログを通じて意思の疎通にずれがあったと説明されたのですが、ブログはみなさん見れるという性質はありますけれども、もちろん見ている方も、多いか少ないかという、少ないと思うんです。その時に、コミュニケーションの不足があったということを市長が認識なさるならば、改めて、マスコミ等集めていただいて、意思の違いをしっかりと明らかにして、今後そういう場合があったときにしていただきたいということを、公の場をお借りしてお願いさせていただきたいと思います。

答（市長）： 気をつけます。

問： 休校する小中高校は、全部で何校あるか。

答（学校指導課長）： 小学校は53校1分校、中学校は24校、高等学校は1校です。

問： 分校は、休校しないのか。

答（市長）： 休校です。ただし、学年関係なく受け入れをします。保護者の希望があつて、お昼ごはんをお持ちいただくことをお願いしますけれども、その場合は分校、芳齋分校の場合は、学年関係なく、受け入れをさせていただきます。小將町中学校においてもそうです。

問： 市民の方々からご意見があつて、真摯に受け止めたとのことだが、具体的にどういった市民の方からの意見があつたのでしょうか。

答（市長）： メールをたくさんいただいています。500件近い色々なPCメール、Cメール、Facebookのコメント、ツイッターのDM、メッセージであつたりだとか、電報も1件ありました。お電話であつたりとかいただきました。それは、直接私に来るものですから、評価いただく声が圧倒的でした。中には、児童生徒の安全のために、休校の措置をとる意見も数件ではありましたがありませんでした。私はここは、市民の思いとして受け止めさせていただきました。ただ、施策で物事を動かすときには、一定のエビデンスなり、一定の根拠が必要になってきますので、今回の小中高校の一斉休業は、一義的にはやはり保護者等の安心であり、そのことを通して、児童生徒を含めた市民国民の安全を確保していくということであると思っております。